

主体性養いモチベーション向上へ

就職課スタッフがバックアップします

就職特集

「希望の就職」をかなえるために

7~10面

本学では学生たちが希望の就職をかなえるために、就職課がきめ細かな個別就職相談や幅広い就職支援プログラムを実施し、バックアップを行っている。学生たちは主体性や能动性を養うとともに、就職活動に向けてモチベーションを向上させ、厳しい就職戦線を乗り切る力を手にする。

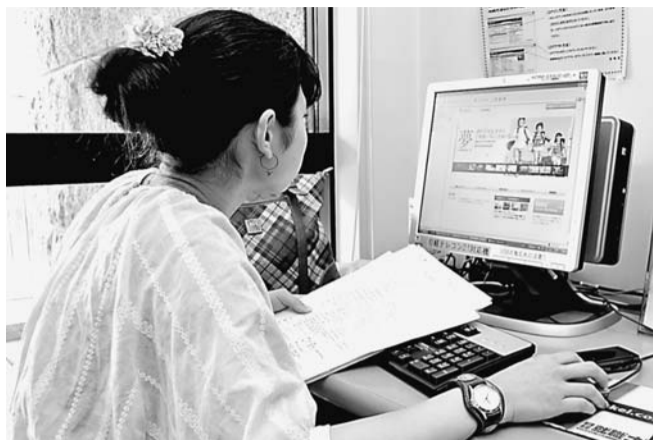
大手企業で採用人数 増も中小は減少傾向

5月に発表された2010年度卒業生就職率(現4年次生)の大手求人倍率は1.23倍と、前年度より0.05ポイント上がった。今年度の特徴としては、大手企業が採用人数を増加させ、中小企業が減少させる傾向が見られる。また、就職活動真っ最中に発生した東日本大震災の影響により、特に大手企業では選

4年次生向け サポート

- ① 学内企業説明会
- ② 個別就職相談
- ③ 求人票の公開

就職課が4年次生向けに行っているサポートとしては①学内企業説明会の開催②個別就職相談③求人票の公開などがあがる。



▼ S-netを利用し企業検索する学生

倫理憲章改定で就職・採用日程が変更

倫理憲章が改定され、就職活動の早期化・長期化に歯止めがかかることになった。

3年次の夏に取り組み4点

後期からの支援プログラム本格化を前に

採用広報活動が12月1日以降に変更されるなど、就職・採用日程に変化が見られる。本学でも、就職支援プログラムの開催時期を変更するなどして、対応する。

後期からは、本格的に就職支援プログラムがスタート。本番さながらの緊張感の中で面接が体験

本学の第2回内定率調査(6月26日付)も32.9%と前年比で10.4ポイント下がったが、これは全国的な状況で、多くの企業が震災による採用予定数の変更はないとしており、最終的には前年度を上回る内定率に届くものと予想される。



▼ 神田就職課資料室

の繰り返し、エントリーシート(E-S)の添削なども行う。③は、卒業生が活躍しているなどの理由から、「専大の学生を採用したい」という熱意を持つ企業からの求人が増加。これらの情報は「S-net」に集積され、学生は自宅パソコンからも閲覧が可能。

キャリアデザインセンター 学生自らの将来像や目標設定をサポート

就職活動に臨むに当たり、自らの働き方や生き方を描く「キャリアデザイン」が大切となる。専修大学では学生自らが将来像や目標を設定するために、キャリアデザインセンター(センター長小林隆ネットワーク情報学部教授)が手助けしている。

キャリア支援公開講座 『プロフェッショナルが語る 現代ビジネス事情』を開講

同センターでは経済産業省が提言する「社会的責任を磨くことを目的として、新日本有限責任監査法人の協力で『プロフェッショナルが語る現代ビジネス事情』と題したキャリア支援公開講座を開講している。今年度は5月12日から7月14日まで全10回、神田キャンパスで開講された。

この講座は学生のみでなく、一般の方も受講できる「総合就職合宿研修会」、実際に社会人の方から生の声でアドバイスを受ける「学内OB・OG訪問」などが展開され、内定を得た先輩方が「学生就職アドバイザー」として実体験をもとにアドバイスする。就職課では「第1回就職ガイダンス(10月上旬)に必ず出席してほしい」と呼びかけている。

第1回は本学OBの須藤さんが講演

自己理解ワークショップ開く

神田キャンパスでもMBTI受検

自らの将来像を描くにあたり、自己理解を深めることが必要となる。その手助けとして同センターでは「自己理解ワークショップ」を生田、神田両キャンパスで開催している。6月17日に神田キャンパスで行われたワークショップには11人が参加。国際規格の性格検査であるMBTIを受検し、自身のタイプを探った。MBTIは全世界で年間約500万人が受検。ユングの心理学的タイプ論に基づき性格を16タイプに分類する。学生たちは、資格を持つ同センター職員とともにエクササイズを行い、自分にフィットしたタイプを探すことで、自己理解を深めた。



▶ 神田キャンパスで

インターシップ活動応援プログラム

今年度の活動応援スペシャルプログラムの一つとして「チームビルディング講座」が生田キャンパスで初めて行われた。各チームの代表を含む39人が参加。講師の藤田恵介氏は「この講座の目的は『自己理解を深める』『他者が自己理解を深めることに協力する』の2点です」と語り、講座を展開し、写真。学生たちは自己紹介を兼ねた「記者会見」、グループ内で意見の合意を導く「コンセンサスをもとめ」などの個人ワーク、グループワークを体験。個々の特徴を生かし、一つの目標に向かうチーム作りについてヒントを得た。

「チームビルディング講座」



本学では「インターシップ(就業体験)」を希望する学生に向け、経済・経営・商・ネットワーク情報の各学部で正課科目を開講している。17日のキックオフから始まり、学部・学年が異なるメンバーでチームを組む。16のテーマに取り組